

科目名	秋田県の歴史と文化	科目分類	■専門科目群（第1グループ） □総合科目群（第2グループ）	
			国際観光学科	□必修 ■選択
			学科	□必修 □選択
英文表記	History and Culture in Akita Prefecture	開講年次	□1年 □2年 ■3年 □4年	
ふりがな	かまだ ゆきお	開講期間	■前期 □後期 □通年 □集中	
担当者名	鎌田 幸男	修得単位	2単位	
授業のテーマ	秋田県の歴史と文化、文人の概要を知る。			
到達目標	秋田県の歴史や文化の概要を知り、あわせて郷土の歴史や文化に興味と関心をもち愛着心をもつ。			
授業概要	秋田県の歴史の全体像に触れるが、とくに江戸時代以降の歴史と人物と文化に視点をあてて考える。秋田県は、地理的環境から全国有数の穀倉地帯であり、鉱山地帯、天然の秋田杉産出地でもあった。また秋田を訪ねた文人や紀行家、秋田の偉人にも目を向ける。こうした風土の上に伝統文化を築いてきた。			
授業計画				
第1回	秋田県の夜明け―地理的環境を知る			
第2回	出羽郡と出羽柵と秋田城を考える			
第3回	出羽国と平泉文化―清原氏と後三年の役から			
第4回	神仏を求めて―熊野信仰と修験道の浸透			
第5回	安東氏の秋田進出とその時代―秋田定着、日本海の水運のこと			
第6回	佐竹氏と秋田藩―佐竹義宣、久保田城と町割り			
第7回	鉱山の隆盛と民衆、藩財政を潤した秋田杉、穀倉地帯、油田など			
第8回	土崎港の賑わい―雄物川を下る秋田の米、能代港、北前船の往来			
第9回	近代秋田のはじまり―戊辰戦争と明治初年の秋田			
第10回	みちのく秋田の文化の概要を考える			
第11回	菅江真澄の足跡を考える			
第12回	佐藤信淵と平田篤胤の思想の概要を知る			
第13回	老農・石川理紀之助の足跡を考える			
第14回	秋田県の文化財と民俗文化財を考える			
第15回	戦後の秋田―変わり行く八郎潟干拓とその後			
第16回	定期試験			
授業時間外の学習	① 秋田の歴史や文化に興味・関心をもつ。 ②「道ばたの文化財」を調べてみる。			
履修条件 受講のルール	秋田県の風土や歴史、文化、文人について、関心と興味をもつ。			
テキスト	講義のときプリントを配布			
参考文献・資料	『秋田県の歴史と風土』創土社、『風土と文化』秋田県書店組合。			
成績評価の方法	① 定期試験（60%）、②小テストを実施（20%）、③レポート（20%）、 ①②③の総合評価をする。			
オフィスアワー	火曜日 14：40－16：10 ＊これ以外の場合は事前に連絡すること。			
成績評価基準	平成28年度（2016）以降入学した学生 秀(100～90点)、優(89～80点)、良(79～70点)、可(69～60点)、不可(59点以下) 平成27年度（2015）以前に入学した学生 優(100～80点)、良(79～70点)、可(69～60点)、不可(59点以下) 出席回数が規定に満たない場合及び授業料その他納入金等の全額を納めていない場合は、試験を受けることができません。			

学生への メッセージ	① 秋田の歴史や文化、文人に関心をもつ ②史料館や博物館見学をしてほしい。
---------------	---------------------------------------